

ニュースリリース

SDGs 推進本部の設立を歓迎

2016年5月20日

SDGs 市民社会ネットワーク/動く→動かす

2016年5月20日付報道発表にありますように、総理を本部長、全閣僚を構成員とする「SDGs 推進本部」が立ち上がりました。様々な分野で活動する NGO/NPO が参加する「SDGs 市民社会ネットワーク」(事務局: 動く→動かす) は、同本部が総理を本部長として設立されたことを歓迎します。

昨年9月、国連特別総会において全会一致で採択された「私たちの世界を変革する: 持続可能な開発のための2030 アジェンダ」は、日本もその達成に向けた取り組みが求められる17の持続可能な開発目標(SDGs)が中心となった文書です。

SDGs は貧困・格差、気候変動など、私たちが直面する地球規模の、そして日本国内のあらゆる課題を包括した目標です。市民社会はこれまで、あらゆる分野にまたがる諸問題に取り組むために、省庁の連携を可能にする「司令塔」として、政府内に推進本部を設立することを要望してきました。その観点から、SDGs 実施の国内体制として、全閣僚を構成員とする省庁横断的な政府の体制ができたことを高く評価します。また、推進本部設置を受け、来週開催される G7 伊勢志摩サミットにおいても日本がリーダーシップを発揮し、G7 首脳宣言において SDGs 実施への明確かつ実効性のあるコミットメントが出されることを期待します。

今後、日本においても実施が進められていく過程で、市民社会としては以下の点を引き続き求めていきます。

誰一人取り残さないこと: 実施にあたり優先課題を特定する際には、SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」ことが最優先となるべきです。優先課題の特定にあたっては、だれがどのような形で取り残されているのか、最も周縁に置かれた人々を最優先することが重要であり、その上で政策・方策の実施を考えていく必要があります。その観点から、実施上の全てのプロセスにおいて、取り残された人々とともに草の根で活動してきた市民社会の参画を確実にしていただくよう求めます。

経済・社会・環境の三分野に統合的に取り組むこと: SDGs の基本理念の一つは、三分野は不可分であり統合的に取り組む必要があるという点です。いずれかの一分野に偏ることなく、それぞれの不可分性に十分に留意しながら、バランスのとれた政策・方策が実施されることを強く望みます。

実効性のある仕組みを構築すること: 多くの課題を包括する SDGs は、省庁が個別に取り組み、解決できるものではありません。省庁が効果的に連携でき、実効性のある取り組みが進められるよう、革新的な考え方・手法によりこれまでの「省庁縦割り」を「変革」しうる推進本部であることを期待します。市民社会も、様々な分野の活動を連携させるとともに、民間の各セクターが全体として SDGs の実施に取り組むための「推進会議」などの枠組みの構築に向けた取り組みにも着手しています。

多様な市民社会との意義のある連携を、推進本部としてぜひ進めていただきたいと思います。

【お問い合わせ】 SDGs 市民社会ネットワーク事務局: 動く→動かす

事務局長 稲場雅紀 電話: 03-3834-6902 メールアドレス: office@ugokuugokasu.jp

<http://www.ugokuugokasu.jp/index2.html>